

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年1月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	平成25年11月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年12月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者一人一人の要望や思いがあった場合はすぐに職員全員で解決していき、一人一人が生き生きと生活できる様に、日々職員全員で取り組んでいる。
- ・徘徊のある入居者の方がいるが、職員は徘徊を徘徊とは思わず施錠することなく、自由に外出していただきさりげなく付き添いながら、見守りを行っている。
- ・職員個々が目標を掲げ、日々のケアの実践に努めている。
- ・地域の行事には入居者、職員と一緒に参加し、地域住民との交流を図れている。
- ・家族の思いや希望、要望などを気軽に相談できる環境作りに努め、面会時等訪問しやすいグループホーム作りを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・玄関に職員一人ひとりのケア目標が掲げられており、来訪者にホームのケアに取り組む姿勢がわかるよう工夫されている。
- ・利用者が外出希望の時は、さりげなく寄り添い「今日は寒いですね」など言葉かけの工夫をして見守りながら散歩を兼ねて支援している。
- ・運営推進会議が定期的に行なわれ、ホームの状況報告や外部評価の報告や意見・提案など、運営に取り入れている。
- ・他施設との交流を行い、職員と利用者が一緒に訪問し、ホーム全体の交流に積極的に取り組んでいる。
- ・管理者を中心に職員全員で、新しいことも取り入れよう、やってみようという前向きな姿勢で、利用者の思いに沿ったケアの実践に努めている。
- ・管理者は、職員の意識向上と資格取得に向けて、研修や勉強会など積極的に取り組みサービスの質の向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は常にケアの根幹として、共有し、日々のケアに取り組んでいる。	ホーム独自の理念を事務所やトイレ等、目につきやすい場所に掲示し、朝礼で唱和することで職員は理念を共有してケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	職員は年2回の奉仕作業や美化活動に参加し、地域行事にも入居者や職員と一緒に参加している。	開設時から自治会に加入し、職員は役員会及び清掃活動や新年会に参加している。最近は地域行事に利用者と参加する際、ホームの席が設けてある。ほぜ祭りや夏祭り・運動会などの見学をしている。他のグループホームとの交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の役員会に管理者が出席し、地域の方々に支援の方法を報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、民生委員、家族の代表が出席し、2ヶ月に1度開催し、意見や質問、要望を聞き検討し、サービスの向上に努めている。	会議は定期的に行われている。次年度からは地域包括支援センター職員も参加予定である。ホームの状況や行事・入居者への支援・外部評価の結果報告等も行い、意見交換をして、支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開き、実情やケアサービスの取り組みを伝え、相談の機会をもっている。</p>	<p>市の担当者へホームの新聞を持参した際や申請書類の提出の時・運営推進会議の機会等に相談をしたり、情報をもらっている。地域包括支援センター主催の地域ケア会議が実施され、情報交換を行っている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外出の察知、外出傾向の把握、近所の理解・協力の促進等、無理に引き止めずさりげなく見守っている。</p>	<p>殆ど毎日、外に出かけたいと思う利用者に、自由に行動することを優先し、職員はさり気なく見守りや言葉かけで付き添う等、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせずに自由に外出ができ、本人が満足するところまで行動を共にしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日常的に虐待防止に努めている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の記録、報告によってミーティングで職員間の共有を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所決定時に利用者や家族に十分な説明を行い、理解、納得される様話し合いを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話、運営推進会議等で意見や要望を聞き、意見・要望等があった場合は職員間で話し合いを行っている。	年1回職員と家族の交流会を行って、意見や要望を聞いている。家族の訪問もよくあり、懇談をして思いを聞いている。家族からおやつの差し入れについて質問があり、特に心身に影響がない場合は制限をしない等、要望に沿った対応に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月代表者もミーティングに出席し、意見交換を行っている。	管理者は朝礼や毎月のミーティング時、また、行事の後の食事会で職員の意見を聞くようにしている。提案や意見が運営に活かされている。個別にも、気軽に相談を受けて勤務時間等、働きやすい職場になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者が職員個々の悩みや相談を聞き、毎月のプロジェクト会議の際に理事長や理事に報告している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>2ヶ月に1度法人全体の勉強会を開催し、職員全員が勉強をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所と年2回、合計6回の交流会を図り意見交換などを行いながらサービスの質の向上を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の希望、不安、要望等に傾聴している。また家族からも本人の情報を得て、慎重な配慮、工夫、説明をし安心してもらえる様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	介護に至った家族の心情にも十分配慮し、困っていることや要望等を聞き、家族の気持ちに共有し内容によっては解決している様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族から聞き取った情報などから本人のその時の状態を見極め、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立は声かけ見守り、一人一人の視点、立場に立ち一緒に洗濯物たたみや掃除をしながら意欲を持っていただき、残存能力を活かし、発揮する機会を作り共に学んだり支えあう関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に訪問できる雰囲気である様努め、現況報告を行い家族、本人の意向を尊重し、良い方向に向かう様支え合う関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙で便りを出されたりドライブ等で自宅へ立ち寄ったり、行きたい所があったら叶えられる様支援している。	本人の意向に沿って、手紙や家族への電話、自宅訪問等を実施し、これまでの関係を継続できるよう支援している。本人家族の希望を取り入れ、全面的に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時にはトラブルもあるが席の配置に気配りし、入居者の方に話題を提案し会話が活発になる様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状、暑中見舞い等で関係を大切にしながら必要に応じて家族の方と情報交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族、本人に声かけしながらできるだけ本人の意向に沿えるように努めている。	利用者の担当を決めて、毎日のケアの中で、特に入浴のときなどコミュニケーションを取り思いを聞いている。利用者間の会話の中からや家族の情報から意向を把握している。意思疎通が困難の場合は、家族や職員で話し合い思いに沿えるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人からの情報収集に努め、できるだけ把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の変化を観察し、職員間で情報交換を行い、細かな部分も状態把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、本人の意向を中心に計画を作成し、主治医、作業・理学療法士、職員全員のそれぞれの意見を取り入れて、計画作成を行っている。	本人や家族の希望を聞き、主治医等や毎月のミーティング時の職員の意見を参考に、担当者会議で介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、状況に応じ計画の見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、介護支援経過記録、申し送りノート、ミーティング等を活用し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の事情に合わせてできない事は職員が支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園やお話し会等のボランティア活動を活用し、入居者が楽しめるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	随時、かかりつけ医と連絡を取り、適切な医療が受けられるように支援している。	入居時に、かかりつけ医について、本人及び家族の希望を聞いて対応している。協力医療機関の定期受診はホームで、専門医の受診は初回のみ家族に、歯科医など職員が同行して支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医や看護職員に情報を伝え、適切な看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院した場合安心して治療できるように、病院関係者と情報交換し、本人に安心していただくように支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期のあり方について本人、家族と話し合い、主治医と共に取り組み支援している。	契約前に看取り指針で説明し、同意書を得ている。24時間の医療連携体制を取っており、協力医療機関と具体的な支援について協議しながら、家族等の意向に沿った支援に取り組んでいる。ホームでの看取り希望が多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者の急変や事故発生に備えて、随時、AED、応急手当、初期対応の訓練を行い身に付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年3回防災訓練、救急訓練を行い、また、保育園側とも避難訓練の連携を行っている。</p>	<p>消防署の協力で夜間想定を含めて火災避難訓練を実施している。今年度は、地震・津波の防災訓練を保育園と合同で実施した。災害用の備蓄については、水やインスタント食品・医療器具など用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報取り扱いには、職員の採用時に誓約書を交わし、記録物に関しては他者の目に触れないように大切に保管している。入居者の方々への声かけには、親しみの持てる思いやりのある声かけをしている。	法人の研修会で誇りやプライバシーを損ねない言葉かけについて理解を深めている。入居時に呼称の確認を行い、トイレ等をさりげないケアで対応している。また、記録物の取り扱いも慎重にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の好きなことを見つけたり、常に入居者の状態を把握し、外出される時には見守りを行い自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別に声かけし、体調、希望を聞き、本人の外出、着衣などの選択を支援し、気持ちよく生活ができるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者の希望がある時には衣類の買い物に出かけたり、希望の美容院に職員や家族が付き添い外出されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者一人ひとりにあった食事を美味しく頂ける様に、盛り付けなどを工夫し、一緒に野菜の皮むきやお膳拭きなども手伝ってもらっている。	職員と一緒に下ごしらえやテーブル拭きなどの準備を行い、同じテーブルで食事をしている。庭でできた野菜なども食材として使っている。誕生日の好物のリクエストに応えたり、家族と一緒に調理をする等、様々な楽しみを工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士にアドバイスをもらい献立を作っている。食事量や水分量は毎日記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後洗面所まで誘導し、介助を要する場合には介助を行い、夜間は毎日洗剤に浸け清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導の時間を設け、日々排泄チェック表に記入し、排泄がなかった場合には時間をおきながら再度誘導したりと、自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンの把握とトイレ誘導の工夫で、全員布パンツになることを目標に、排泄の自立に向けた支援をしている。排泄記録や様子観察を細かく行ないおむつの使用を減らすように全員で取り組んでいる。自立している利用者は維持できるよう見守っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食品の摂取や食事の工夫をし、個々に応じた便秘予防に向けた運動への働きかけをし、習慣性便秘にならないように支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調や気分を考慮し、『ありがとう』と笑顔を見せてもらえる入浴の環境を支援している。	週3回を基本として、その日の気分等で毎日の入浴もでき、時間や入浴剤の使用も自由で温泉にも出かけている。入浴を拒む利用者には、無理強いせず様子を見て声かけや工夫して対応している。拒否していた利用者が今は自分から入浴している事例もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間は余暇活動など楽しみ、午睡時間も設け、夜間はよく眠れる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が服薬管理を行い、一人ひとりの症状の変化を観察し、記録している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日洗濯物たたみや天候によって周辺の散歩やドライブに行き楽しんでおり、保育園児やボランティアの方々との交流も図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の協力もあり、墓参りや買い物に出かけられ、そうめん流しへ外食に出かけたり、温泉に入りに行ったりと年間計画を立て支援している。	近隣の散歩は毎日実施している。週2回のリハビリや希望によって買い物やドライブに出かけたり、温泉やソーメン流し等の外食・季節の行事・保育園や他のグループホームとの交流会等、積極的に外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の中には本人が金銭を手元に持ち、使わずともお金を持っているということで、安心していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	一人での利用が困難な方もいるため、各自に応じた手紙や電話の利用が出来る様支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な安心感のある場所になる様工夫している。	共用空間は落ち着ける木造作りで採光を取り入れ明るい。行事の写真やクリスマスツリーが飾られ季節を感じる。広い廊下では両側に手すりが設置され、車椅子でも安全に通れるよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者一人ひとりの希望を聞き、気の合った方と隣に座れる様工夫している。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族から聞き、馴染みのあるものを自由に持ち込んで頂き、居心地良く生活できる様支援している。	居室は、ベッドやダンス・収納スペースがある。本人や家族で話し合っ、自宅で使い慣れた椅子等の家具や小物・写真など自由に持ち込まれている。すっきりと整理されて過ごしやすい個性的な部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、歩行者のための手すりも設備し、自立支援を行えるよう工夫している。	/	

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない